

第31回医学情報サービス研究大会プログラム

[M: モデレーター T: タイムキーパー]

第1日目 2014年7月26日(土)

- 9:30-14:45 受付
- 10:00-11:00 継続教育: 医学情報サービス職のための教養講座
蓬左文庫と所蔵の医学書・本草学書
講師: 桐原千文(名古屋市蓬左文庫 文庫長)
- 12:00-12:30 開会式・幹事会報告
医学情報サービス研究大会30年間の軌跡
青木仕(医学情報サービス研究大会代表幹事; 順天堂大学図書館)
- 12:30-13:00 口演発表A: 情報のナビゲーション
[M: 塚田薫代(静岡県立こども病院) T: 松村悠子(長崎大学附属図書館)]
- N-01 “医療情報”から“医療・介護情報”へ! —長崎市立図書館の取り組み—
西岡由乃(長崎市立図書館)
- N-02 リンクリゾルバ導入後の現状と課題 —ナビゲートが困難な事例からの検討—
山崎むつみ(静岡がんセンター医学図書館)
- 13:00-13:30 プロダクトレビュー[前編] E-01~E-05
- 13:40-14:40 口演発表B: 情報資源の評価
[M: ふじたまさえ(カーリル;アカデミック・リソース・ガイド) T: 榎本涼子(名古屋市立大学)]
- N-03 CiNii APIを用いた蔵書比較方法の提案
廣瀬洋(埼玉医科大学附属図書館)
- N-04 医学分野における学会発表の分析 —Pharmacovigilanceの観点を含めて—
平山陽菜(一般財団法人 日本医薬情報センター附属図書館)
- N-05 図書館情報資源の資産価値の検討 —利益概念の考察をとおして—
作野誠(愛知学院大学非常勤講師; 名古屋市立大学大学院経済学研究科研究員)
- N-06 国の引用インパクトは雑誌により変わるか?
小野寺夏生(筑波大学)
- 14:40-15:10 プロダクトレビュー [後編] E-06~E-10
- 15:10-15:20 バーチャル・ポスターツアー
ツアーガイド: 松本直子(聖路加国際大学学術情報センター図書館)

15:30-17:00 実行委員会企画
「山崎茂明先生に聞く：His Milestones and In Our Time」
語り手：山崎茂明（愛知淑徳大学教授）；聞き手：坪内政義

第2日目 2014年7月27日（日）

- 9:00-12:30 受付（2日目から参加する方のみ）
- 9:30-11:00 参加者企画 ※同時開催
- F-01 **Research& Writingの世界へようこそ!!**
児玉闊（東邦大学医学メディアセンター），大谷裕（東邦大学医学メディアセンター），城山泰彦（順天堂大学図書館），谷澤滋生（東邦大学習志野メディアセンター）
- F-02 **手話DE おもてなし31 -医学図書館員のための手話-**
櫻こころ
- 11:15-12:30 口演発表C：専門性の育成と活用
[M：熊谷雅子（多治見市図書館）T：平山陽菜（日本医薬情報センター附属図書館）]
- N-07 **グループワークから見る医療健康情報サービス**
舟田彰（川崎市立宮前図書館）
- N-08 **長崎市立図書館の地域における小児医療への関わりについて**
-小児在宅医療・小児がんを例に-
佐藤美加（長崎市立図書館（TRC九州株式会社））
- N-09 **エンベディッド・ライブラリアンを目指して**
-病院図書室の課題解決に向けたビジネス・フレームワークの活用-
佐藤正恵（千葉県済生会習志野病院図書室・患者図書室；放送大学大学院）
- N-10 **あおぞら医療相談&レファレンスの試み -医学図書館員も地域へ-**
荒木亜紀子（川崎市立井田病院図書室）
- N-11 **日本の科学技術情報政策と医学図書館構想**
-国民の健康保障と国の責任からみた医学図書館構想-
木幡洋子（愛知県立大学）
- 13:45-14:45 口演発表D：学術情報の歴史とアーカイブズ
[M：山田久夫（関西医科大学）T：当日発表予定]
- N-12 **人物像から見た『明六雑誌』**
松本佳奈

- N-13 戦後の医学図書館への China Medical Board 財団による資金援助
 ー長崎大学附属図書館医学部分館の場合ー
 松村悠子（長崎大学附属図書館）
- N-14 「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」と展示会による史料の活かし方
 蒲生英博（名古屋大学附属図書館医学部分館）
- N-15 愛知医科大学における図書館・アーカイブズ連携の試み
 山口拓史（愛知医科大学アーカイブズ），西村飛俊（一宮市立中央図書館），
 小林晴子（愛知医科大学医学情報センター（図書館）），市川美智子（愛知医
 科大学医学情報センター（図書館））
- 14:45-15:15 写真撮影・閉会式

ポスターセッション

発表者は第1日目の15:10-15:20にメインホールで行われる「バーチャル・ポスターツアー」で1分間のポスター紹介スピーチを行い、第2日目の13:10-13:40は各自のポスターの前で待機しています。発表者との交流にお役立てください。

- P-01 長崎市立図書館「がん情報サービス」の新たな試み
 ー利用者目線を重視したブックリスト作成ー
 森ふゆ子（長崎市立図書館）
- P-02 「赤十字リポジトリ」の導入によるリポジトリ活用の事例
 天野いづみ（静岡赤十字病院 図書室）
- P-03 「医療を学ぶ人のためのEBMワークショップ in 愛知」開催による図書館員の
 能力開発支援の試み
 小林晴子（愛知医科大学医学情報センター（図書館）），大野圭子（朝日大学図
 書館），柿田憲広（愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター）
- P-04 Google Analytics のアクセス統計をもとにしたホームページの管理・運用に
 ついての検討
 大谷裕（東邦大学医学メディアセンター）
- P-05 HINARI が発展途上国に向けて提供する電子ジャーナルの計量的分析
 城山泰彦（順天堂大学図書館）
- P-06 KIT0cat の開発と運用について ー地域・館種を越えた協働の事例ー
 武田昭子（刈谷豊田総合病院）
- P-07 医学情報サービス研究大会 30年間の軌跡 ー大会集合写真をとおしてー
 青木仕，及川はるみ，大谷裕，城山泰彦，小室沙絵，西さやか，松坂重徳
 （医学情報サービス研究大会 30周年記念誌編集委員会）